

2008年6月10日

報道関係者各位

株式会社ワイ・ディ・シー

YDC、プリント配線板検査システム
「PCB Inspection Knowledge System」販売開始
～名古屋電機工業製 X線 CT 検査装置と連携、非破壊で不良個所を高精度に特定し、
品質保証に繋げる～

株式会社ワイ・ディ・シー（本社：東京都府中市、代表取締役社長：宮坂博、以下 YDC）は、プリント配線板用の新たな検査システムとして「PCB Inspection Knowledge System (PIKS)」を販売開始することを発表します。本システムは、本年7月より提供します。

「PCB Inspection Knowledge System (PIKS)」は、プリント配線板の品質検査にて、非破壊型の検査手法で不具合発生箇所を高精度に特定することができる検査システムです。名古屋電機工業株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：小林悦朗）が開発・販売を手掛ける X線検査装置「NLX-5000」と、この度 YDC が新たに開発した不具合箇所特定アシストツール「FPSS (Fault-point Search System)」との連携で実装します。

名古屋電機工業製の X線検査装置「NLX-5000」は、X線透視により、外観検査では観察不可能なプリント板内部を非破壊で高精度に検査する装置です。非破壊で製品内の詳細を 3次元の画像データで一元的に観察できるとともに、従来ブラックボックスであった開発・製造の工程レベルの検査までも対象としている点が特長です。

一方、YDC 製の不具合箇所特定アシストツール「FPSS」は、「NLX-5000」で特定不可能な不具合発生箇所の位置情報を精緻に解析するソフトウェアです。両製品が連携した「PCB Inspection Knowledge System (PIKS)」により、「NLX-5000」で撮影した製品内部の 3次元画像データに、「FPSS」が解析・特定する不具合発生箇所の座標データが融合することで、開発・製造工程から市場展開後に至るまでのすべての段階で、製品の不具合を迅速に特定・修正できるようになります。なお、「FPSS」は、既に「NLX-5000」を導入されたお客様へのオプション実装も可能です。

「PCB Inspection Knowledge System (PIKS)」をご活用いただくことにより、非破壊検査手法で製品細部の検証・エラー修正が容易になり、開発段階では開発工数が削減され、製造段階では故障発生リスクを軽減でき、また、市場に展開した後では故障解析作業を効率的に実施することができるようになります。また、一連の検査履歴を電子データで一括管理できることから、トレーサビリティが確保され、品質保証の根拠材料としてユーザの要求に応じて迅速に提示することが可能になります。

本システムは、YDC、名古屋電機工業、横河商事株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役：横河惇）、吉田工業株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役：吉田義輝）、その他 YDC の販売代理店を通じて提供します。YDC では、初年度 100 ライセンスの販売を予定しています。

以上

本システムは、2008年6月11日(水)より東京ビックサイトで開催される「JPCA Show 2008」(主催:社団法人日本電子回路工業会(JPCA))に出展されます。
「JPCA Show 2008」の詳細につきましては、こちらのURLをご参照ください。
<http://www.jpccashow.com/show2008/index.html>

【「PCB Inspection Knowledge System (PIKS)」の概要】

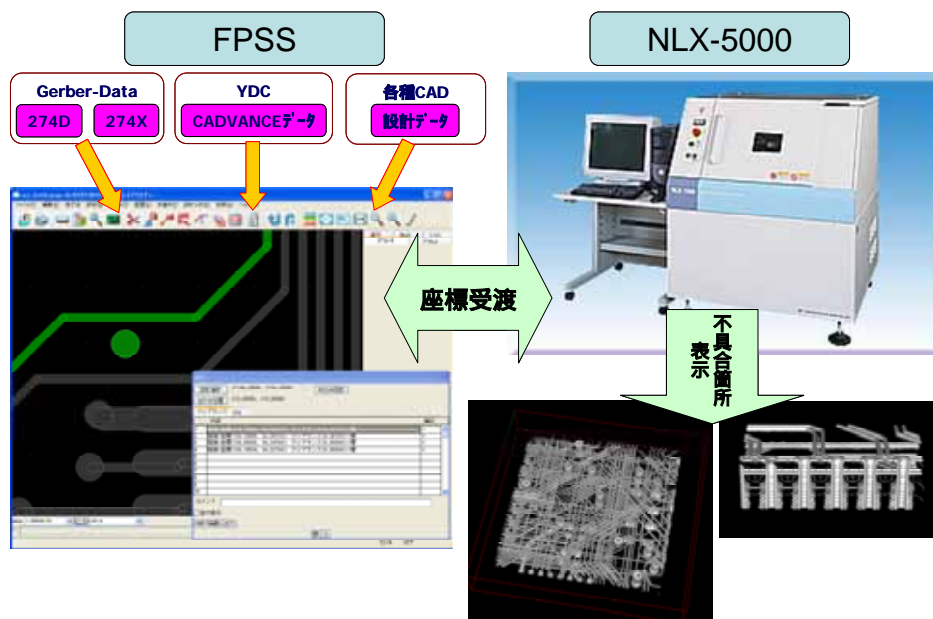
主な特徴

- X線検査装置「NXL-5000」(名古屋電機工業製)
 - X線を活用した3次元の透視画像を撮影することで、非破壊で被検査品内部の観察、解析、検査を行うことができます。
 - 従来型の製品完成後での検査だけでなく、開発や製造の過程で工程レベルの検査ができるため、検査作業を省力化するとともに、故障リスクを軽減させることができます。
 - 検査の履歴を全て電子データ管理することで、トレーサビリティが向上します。万一、上市後に故障が発覚した場合にも、迅速に原因を特定することができます。
- 不具合箇所特定アシストツール「FPSS」(YDC製)
 - 不良個所のMIN/MAX座標、及び発生層を精密に解析し、「NXL-5000」に受渡しします。
 - 元となるガーバーデータを取り込むことができるため(他社製CADツールにも対応)製品の全層にわたって近傍ギャップを解析することができます。
 - 不良発生箇所の情報をナレッジとして蓄積し、将来の解析処理に反映させることができます。

提供価格

X線検査装置「NXL-5000」(名古屋電機工業製) 本体価格: 4,980万円
別途、搬入据付費用、トレーニング費用等
不具合箇所特定アシストツール「FPSS」(YDC製) 一ライセンス: 100万円
別途、保守費用(ライセンス費用の10%相当)

「PCB Inspection Knowledge System (PIKS)」概念図



X線検査装置「NXL-5000」(名古屋電機工業製)につきましては、こちらのURLをご参照ください。
<http://www.nagoya-denki.co.jp/product12.html>

株式会社ワイ・ディ・シーについて

YDC は 1972 年創立のシステムインテグレータです。横河電機グループの IT 専門企業として、ERP、EAI/EDI ソリューション、電気系 CAD システムをはじめ、データベースやセキュリティ、ネットワークなど基盤技術をベースとしたシステムインテグレーション事業で豊富な実績があります。URL : <http://www.ydc.co.jp>

名古屋電機工業株式会社について（コード番号：6797）

名古屋電機工業は、1958 年に設立された各種情報装置の製造メーカーです。道路交通の情報化では業界のパイオニアとして豊富な実績を有しています。交通/環境関連の情報装置、並びに基盤検査装置を軸に、高度な技術力で高品質な製品を提供し続けています。

URL: <http://www.nagoya-denki.co.jp/>

報道関係者のお問合わせ先

株式会社ワイ・ディ・シー EDS 営業部 担当：小荒井（こあらい）
TEL:042-333-6212 E-mail: koarai@ydc.co.jp